

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）

2014年10月22日

「被災地ボランティアツアー」を実施

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：外池徹）は、社員による自主的活動組織「アフラック社員厚生会」の主催により、10月17日（金）～18日（土）に、東日本大震災の被災地である宮城県岩沼市と同県本吉郡南三陸町で「被災地ボランティアツアー」を実施しました。

社員厚生会では東日本大震災の被災地支援の一環として、被災地における社員のボランティア活動を2012年から継続して実施しています。3回目となる今回は、総勢45名が「ボランティア休暇」（ボランティア活動に参加する際、有給休暇とは別に取得できる特別休暇）を活用したうえで、参加しました。

◆「被災地ボランティアツアー」実施概要

◎主催：アフラック社員厚生会

◎日程：2014年10月17日（金）～18日（土）

◎場所：宮城県岩沼市・同県本吉郡南三陸町

◎参加者：当社社員45名（役員3名を含む）

◎プログラム：

- 1)「瓦礫を活かす 森の長城プロジェクト※」における植樹活動
- 2)南三陸町ポータルセンターにて語り部講話、被災地区見学、商店街での復興ショッピング
- 3)ボランティア活動等をテーマとしたワークショップ



植樹の様子



被災地区見学の様子

※瓦礫を活かす森の長城プロジェクト：

青森県から福島県までの沿岸に震災で発生した瓦礫と土を混ぜて高さ5メートル程の盛土を築き、常緑広葉樹の苗を植樹することで、いのちを守る森や「緑の防波堤」を築くことを目指すプロジェクト

当社では、多くの方々の“「生きる」を創る。”保険会社として、社会における課題の解決と持続的な成長をめざし、社会と共有できる価値の創造（CSV*経営）に努めていきます。

*Creating Shared Value